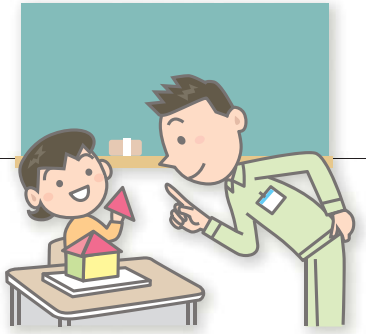


4

その他、地域特有の取組み



地域の実情やニーズを背景に、企業との共同研究や地域の小中学生にものづくりの楽しさを教える事業など、ユニークな取組みも実施されました。また企業実習・実践的授業においても、導入年次を早めたり対象学科を限定するなど、各地域ごとに運用に工夫が見られます。

栃木県

地域の小・中学生との交流や生徒と企業との共同研究

高校生が小・中学生にものづくりを教える事業、生徒と建設関係企業による共同研究、副教材の作成などに取組みました。

■ジュニア・キャリアアドバイザー事業

今市工業高等学校と真岡工業高等学校では、高校生が地域の小・中学生に対してものづくりの楽しさを教える「ジュニア・キャリアアドバイザー事業」を実施。小・中学生とのディオラマ模型（5日間）やプランターの製作（3日間）を通じて、生徒自らのものづくりへの関心を高めたうえ、取組は学校の宣伝にもつながりました。



宇都宮工業高等学校のジュニア・キャリアアドバイザー事業

■企業との共同研究、副教材の制作など

真岡工業高等学校は、指導企業と共同で足場組立解体の安全な作業方法を研究し、実習で使う「足場組立実習指導書」を作成。また宇都宮工業高等学校では、実践的授業で行った内容をまとめた副教材を作成し、県内の工業高校に配布しました。



宇都宮工業高等学校で制作した副教材「土木実習テキスト」

群馬県

建築科を中心に、1年次から企業実習に取り組む

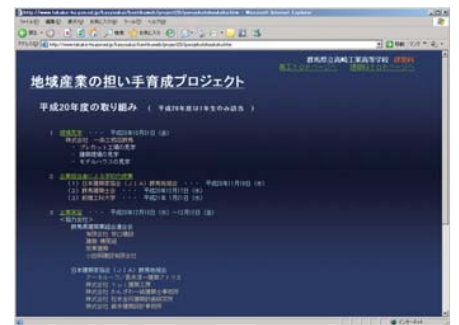
就業体験となる企業実習を、入学間もない1年生から導入。また、ホームページ上で実施状況や成果も公開しています。

■建築科を対象を絞り、1年次から導入

企業実習の対象を、まずは建築科1年生に絞り、段階的に拡大する計画を策定。長期的、継続的な実習を前提に、初年度は建設業に対する興味・関心の向上、職業観・勤労観の育成に重点を置き、その後の技術・技能の習得を進めます。

■校風を活かしたプログラム

各学校の得意分野に注目し、前橋工業高等学校は、伝統技能を尊重した技能者育成、また高崎工業高等学校は、建築設計及び製図指導など、それぞれの校風を活かしたプログラムに取り組んでいます。



高崎工業高等学校の地域産業の担い手育成プロジェクト報告ホームページ